
平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人育美会

貴精保育園

平成30年度事業報告

貴精保育園

ひとりひとりの思いを大切に考え対応していく保育を行いました。
行事等で花の人の家の入居者の方との交流を持ち優しい心を育てていくという事を心がけました。

処遇について

ひとりひとりの思いを大切に保育をより実践していくため、子ども達がのびのびと生活できるように皆で協力して保育を行いました。

今年度は、特別な配慮が必要な子ども（4歳男児）が入園し、川越市や特別支援学校から巡回指導に来てもらい、関わり方を学びました。また、職員皆で共通の認識を持って対応できるように、研修に参加し職員会議などで情報交換、話し合いを行う機会を多く設けました。

問題を抱えている家庭に対しては担任だけでなく場合によっては園長や主任が話を聞いたり行政に相談しながら対応しました。

老人ホームとの併設園であることは、お年寄りとの自然な交流を育み、情緒豊かな子どもの育成に役立っています。多くの行事を通じて交流ができるよう心がけました。

むさしの保育園とは年長児中心に行事に参加するなど園児同士の交流を行いました。

具体的な保育内容は年間の保育計画、行事計画に基づき、月案、週案を作成して実践してきました。

給食では、子ども達はホールから厨房の中を見て、遊んでいる時も厨房職員とコミュニケーションをとったり、食に興味を持つ子が増え食育にも役立っているように感じます。

主に年長児ですが、食育担当保育士が計画を立て、園庭で野菜を栽培したりクッキングなどを行いました。

アレルギーのある園児は年度途中からいなくなりましたが、栄養士、調理員、担任、園長、主任で連携をとり今後いつでも対応できるようにしておきたいと思います。

運営状況について

一時預かり事業は問い合わせや利用者も増え、日によっては受け入れ人数を超える申し込みもありました。3月までの利用者は延べ525名でした。

子育て支援室「つぼみ組」は、口コミやホームページで見たとバスで遠くから来てくれたりして利用者が増えました。3月末までの利用者は延べ1,345名でした。

支援室の利用者が入園にもつながっています。

感染症が流行する時期には各家庭に呼びかけ感染が広がらないよう気を付けましたが、1月に一週間で職員を含め、39名がインフルエンザに罹ってしまいました。今後はホールに空気清浄機を購入したり、消毒を徹底していきたいと考えています。

怪我に関しては、プールの側に置いていた日よけが風で倒れてしまい、子どもの頭に当たってしまい病院に行った(5歳児)。ホールの手洗い場で滑ってしまい、舌を噛んで切ってしまい病院に行った(4歳児)。保育室内を走っていて転んでしまい側にあった木製すべり台に口をぶつけてしまい病院に行った(1歳児)。散歩先の公園の遊具から落ちて口の中を切ってしまい病院に行った(4歳児)。パジャマの入れ物(カゴ)に口をぶつけて切ってしまい病院に行った(5歳児)。ホールで走っていて机にぶつかって口の横を切ってしまい病院に行った(3歳児)。以上、6件 病院へ行く怪我をしてしまいました。職員同士で危険個所などの情報を共有し事故防止に努めていきたいです。

県の事業である発達支援巡回事業で4歳児4名を診てもらいました。

それぞれ、その子の特性をきちんと理解して対応してあげると良いというアドバイスでした。家庭環境の影響が原因と言われた園児もいました。

スリランカから来た園児は、年長に進級しお泊り保育などの行事にも皆と一緒に経験することができ、日本語はたくさんの言葉を覚え、意味を理解して使う事が出来るようになりました。

両親も日本語が上手になりましたが、就学準備などは困難なようだったので、学校に提出する書類などは手伝ったり園で学校に連絡を取ったりしました。

保育士1名が育休を取得したため、代替保育士(週4日、9:00~16:00、月10日、9:30~14:00)の派遣保育士を2名採用しました。

3月に出産したため2月上旬より1名の職員(栄養士)が産休に入りました。1年間、育休を取得する予定です。1月には産休、育休代替の派遣調理員(週5日、8:00~16:00)を1名採用しました。

非常勤保育士が8月に急きょ退職したため、11月から常勤保育士を採用しました。

その他

6月に発達の気になる園児の巡回指導に来てもらい、4歳児2名が加配(障害児担当保育士補助金)の対象となりました。発達障害児での加配は今回が初めてです。

発達が気になる園児の対応は、個別に面談を行い、園だけでなく市内の発達相談、指導を行ってくれる施設へとつなげました。また、担任と園長で発達相談を行ってくれる施設に発達障害児への対応についてや保護者対応について相談に行きました。

年長児の気になる子に対しても個別に面談を行い、保育園で配慮しているところなどを保護者に伝え、市の就学相談に行ってもらうように勧めました。

広いホールを活用してむさしの保育園とリズムを行ったり、研修会や見学会を行う事もできました。今後も近隣の保育園や地域との交流ができると良いと思います。